

ウィズコロナにおける オンライン日本語教育実証事業

研修概要・申込の手引き
[日本語教師研修版]

令和4年5月13日版
(Ver.1.1)

【問合せ先】

オンライン日本語教育実証事業運営事務局（株式会社JTB）

メール：onlinenihongo@jtb.com（※土・日曜・祝日は翌営業日以降の対応とさせていただきます。）

目次

1.研修の概要	3
2.応募要件	5
3.研修スケジュール・募集予定人数	6

1. 研修の概要

概要

(1) オンライン授業での日本語教育の指導スキルのボトムアップを行い、オンライン授業に対応できる日本語教員の裾野を広げる。

(2) 日本語教員が「日本語教育の参照枠」の理論を理解し、学習方法・教え方・評価手法を包括的にとらえたシラバスによりカリキュラミングされた研修を実施し、日本語教員のスキル向上を目指す。

研修参加の要件

研修に参加する日本語教員は、以下の取組みを必須とする。

(1) 分析にかかるアンケート提出およびログ提供の協力

- ・ 実証前後に実施する日本語教員へのアンケートへ回答する。
- ・ オンライン日本語教育実証事業運営事務局（以下“事務局”）が、研修で利用するLMS（learningBOX）から授業のログを確認することに同意する。

(2) 研修で利用するLMS（learningBOX）の利用







- ・ 研修に参加する日本語教員は、事務局が構築したLMS（ラーニングマネジメントシステム）を活用し、日本語教師研修へ参加および学習進捗管理を行う。
- ・ LMSは、龍野情報システムの「learningBOX」を利用する。
- ・ 6月下旬頃、「learningBOX」登録案内を申込頂いたメールへ送信する。
- ・ 「learningBOX」整備の関係上、6月中の研修のみメールでご案内したURLより授業に参加をしていただく場合がある。

日本語教師研修「日本語教育の参照枠理論編・実践編」

概要	目的	「日本語教育の参照枠」を理解し、学習・教授・評価を包括的にることのできる日本語教員の育成を図る。 全体目標：日本語教育の参照枠の理解を深め、日本語教育機関の横のつながりを作り、持続可能な人的リソースを増やす。 理論目標：各自の勤務校において、参照枠を活かした日本語教育の水準や目標を定め、カリキュラム導入計画を作成する。 実践目標：参照枠を活かした日本語教育の水準や目標を定め、マイスクールCan-doを作成する。		
	概要・特徴	参加した受講生同士が参照枠を学びあい、様々な学習観、評価観を知り、自らの勤務する学校のマイスクールCan-doを作成して、現場のカリキュラムに活かすことを目指す。		
実証内容	手法	オンライン形式（Zoom使用）		
	実証期間	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 【理論編】 R1：6月22日～8月31日 R2：6月24日～9月2日 R3：6月25日～9月3日 ※休講：8月11日～8月17日 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 【実践編】 J4：7月5日～9月13日 J5：7月7日～9月15日 J6：7月9日～9月17日 ※休講：8月11日～8月17日 </td> </tr> </table>	【理論編】 R1：6月22日～8月31日 R2：6月24日～9月2日 R3：6月25日～9月3日 ※休講：8月11日～8月17日	【実践編】 J4：7月5日～9月13日 J5：7月7日～9月15日 J6：7月9日～9月17日 ※休講：8月11日～8月17日
	【理論編】 R1：6月22日～8月31日 R2：6月24日～9月2日 R3：6月25日～9月3日 ※休講：8月11日～8月17日	【実践編】 J4：7月5日～9月13日 J5：7月7日～9月15日 J6：7月9日～9月17日 ※休講：8月11日～8月17日		
	実施頻度・回数	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 【理論編】 週1回 全10回／30名／各クラス R1：水曜クラス 10：00～11：30 R2：金曜クラス 13：30～15：00 R3：土曜クラス 10：00～11：30 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 【実践編】 週1回 全10回／20名／各クラス J4：火曜クラス 10：00～11：30 J5：木曜クラス 13：30～15：00 J6：土曜クラス 13：30～15：00 </td> </tr> </table>	【理論編】 週1回 全10回／30名／各クラス R1：水曜クラス 10：00～11：30 R2：金曜クラス 13：30～15：00 R3：土曜クラス 10：00～11：30	【実践編】 週1回 全10回／20名／各クラス J4：火曜クラス 10：00～11：30 J5：木曜クラス 13：30～15：00 J6：土曜クラス 13：30～15：00
	【理論編】 週1回 全10回／30名／各クラス R1：水曜クラス 10：00～11：30 R2：金曜クラス 13：30～15：00 R3：土曜クラス 10：00～11：30	【実践編】 週1回 全10回／20名／各クラス J4：火曜クラス 10：00～11：30 J5：木曜クラス 13：30～15：00 J6：土曜クラス 13：30～15：00		
使用教材	「日本語教育の参照枠」の報告（文化審議会国語分科会 令和3年10月）、手引書、オリジナル資料			
シラバス概要	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 【理論編】 日本語教育の参照枠について理解し、その現状と課題を知る 日本語能力観、日本語熟達度の捉え方を理解する 5つの言語活動ごとのCan-do（活動、方略、テキスト、能力）を知る Can-doをベースにしたカリキュラム開発計画の手順を考える </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 【実践編】 5つの言語活動別に、生活・留学・就労等の活動状況に応じたCan-doを検討する 参照枠を活かした日本語教育の基準や目標を考える 各自の勤務校におけるマイスクールCan-doを作成する </td> </tr> </table>	【理論編】 日本語教育の参照枠について理解し、その現状と課題を知る 日本語能力観、日本語熟達度の捉え方を理解する 5つの言語活動ごとのCan-do（活動、方略、テキスト、能力）を知る Can-doをベースにしたカリキュラム開発計画の手順を考える	【実践編】 5つの言語活動別に、生活・留学・就労等の活動状況に応じたCan-doを検討する 参照枠を活かした日本語教育の基準や目標を考える 各自の勤務校におけるマイスクールCan-doを作成する	
【理論編】 日本語教育の参照枠について理解し、その現状と課題を知る 日本語能力観、日本語熟達度の捉え方を理解する 5つの言語活動ごとのCan-do（活動、方略、テキスト、能力）を知る Can-doをベースにしたカリキュラム開発計画の手順を考える	【実践編】 5つの言語活動別に、生活・留学・就労等の活動状況に応じたCan-doを検討する 参照枠を活かした日本語教育の基準や目標を考える 各自の勤務校におけるマイスクールCan-doを作成する			
条件	受講対象者	告示校の推薦を受けた専任日本語教師（経験1年以上が望ましい）		
	講師レベル・条件	日本語教師養成講座講師経験10年以上の講師が担当		
	学習進捗管理等	learningBOXを利用。各受講者へ登録案内を行い、本システムを通じ出欠・成績・学習進捗管理を行う。		
	受講者の必要備品	PC（カメラ・音声）、インターネット環境、パワーポイントのダウンロード		
	その他の必要事項	成果物提出。出席率80%以上の受講生には、修了証を授与。		

1.研修の概要

研修スケジュール

スケジュール	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月
研修概要 確認							
日本語教師研修 申込	6月10日(金) 12:00必着						
開催(参加)日 決定							
開催(参加)日 通知	メールにて送信						
LMS (learningBOX) 登録	6月下旬						
研修開始	6月下旬以降						

2.応募要件

申込期間及び提出先

(1) 申込方法

研修内容と研修スケジュールを確認のうえ、推薦書（日本語教師研修：様式1）を記入し、
「日本語教師研修に申し込む」のページからアップロードすること。

(2) 申込期限 **令和4年6月10日(金) 12:00必着**

(3) 留意事項

- ・日本語教育機関1校につき、日本語教員【2名】まで申し込み可能。
- ・申し込み多数の場合、参加日程の変更等について依頼させていただくことがある。

(4) 申込に必要な書類について

推薦書（日本語教師研修：様式1）

申込後の流れ

- ・事務局で申込内容（希望日時・推薦書）を確認後、**6月中旬頃**、参加いただく参加日程の連絡をメールで行う。
- ・研修で利用する「learningBOX」登録にかかるご案内は、参加日程確定連絡以降に、メールで行う。

2.応募要件

受講対象者	告示校の推薦を受けた専任日本語教員（経験1年以上が望ましい）
講師レベル・条件	日本語教師養成講座講師経験10年以上の講師が担当
実施環境	LMS利用（受講生登録、講師登録、出欠管理、成績管理などを実施）
必要備品	PC（カメラ・音声）、通信/事務局からのレンタルなし、PPTや資料をダウンロードする必要あり
その他	成果物提出、出席率80%以上の受講生には、修了証授与

3.研修スケジュール・募集予定人数

区分	ターム	実証期間	実施頻度・回数
理論編	週1回 全10回 / 30名 / 各クラス		
	R1	6月22日～8月31日	水曜クラス 10:00～11:30
	R2	6月24日～9月2日	金曜クラス 13:30～15:00
	R3	6月25日～9月3日	土曜クラス 10:00～11:30
実践編	週1回 全10回 / 20名 / 各クラス		
	J4	7月5日～9月13日	火曜クラス 10:00～11:30
	J5	7月7日～9月15日	木曜クラス 13:30～15:00
	J6	7月9日～9月17日	土曜クラス 13:30～15:00

※休講：8月11日～8月17日